

会議等報告用紙

会 議 名	令和7年度第1回亀岡市まちづくり協働推進委員会
日 時	令和7年6月6日（金） 10時00分～12時00分
場 所	亀岡市役所 302・303会議室
出 席 者	委員：谷口委員長、田部副委員長、阿久津委員、井内委員、江見委員、木久委員、京谷委員、谷口委員、田畑委員、長瀬委員、並河委員、則松委員、 （欠席：石田委員） 事務局：樋口課長、吉田主査、藤井 傍聴人：0名
内 容	1 開 会 2 あいさつ 3 協 議 1. 第3次亀岡市まちづくり協働推進実施計画に基づく令和7年度実施事業について 2. 令和7年度はじめてのまちづくり活動応援プログラム （亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業）について 3. その他 4 閉 会
報 告	<主な意見> - 第三次亀岡市まちづくり協働推進実施計画に基づく令和7年度実施事業について - 市役所内に向けた情報発信について、協働推進を担当している課だけでなく、他の課と市民団体の協働がもっと促進されるよう引き続き取り組んでほしい。 - ふるさと亀岡まちづくり応援交付金について、楽天のサイトでは知らないのととり着けない。トップページに応援バナーを載せるなどの工夫が必要である。返礼品がない寄附集めは難しいので、事業者と連携した工夫も検討してほしい。 - 毎年消えてしまう団体があるのがもったいない。やる気が継続できるよう、委員会メンバーの強みを活かしたアドバイスやコーディネート仕組みを作してほしい。将来的には市民コーディネーターのような仕組みにできればよい。 - ボランティアに参加したいときに「今日はここでこういう活動がある」とわかるカレンダー的なものを作ってほしい。市民からアクセスしやすい双方向の情報共有方法を検討してほしい。 - 情報発信にはFacebookやLINEグループなどを活用し、活動団体が自ら発信できる仕組みが有効である。南丹市ではLINEグループで団体同士が自主的に情報共有しており、コストも安い。 - 市主催のワークショップについて固定の場所でのクローズドなイベントではなく、オープンな場所で開催する機会を作った方がよい。もっとフラットに様々な情報を見てもらえる機会を設けてほしい。 - 市職員を対象とした協働研修が数年間実施されていない。職員が協働について理解を深め専門的な知識を身につける機会を作してほしい。行政職員と市民団体が一緒に学ぶ形が効果的である。 - 令和7年度初めてのまちづくり活動応援プログラム申請事業について - 各申請事業について意見聴取を行う。